

橋場氏の木登り行動

野中勝

クロコムラサキ採幼記

以前より木はおろか堰堤も登らぬと噂されていた橋場氏の木登り行動を目撃できたので報告する。

12月17日、橋場・松岡・谷本の各氏と筆者が門前へクロコムラサキの越冬幼虫を採集に行、た際の出来事、同氏はヤナギの地上2m付近まで登り、「アッター」、「イタッ」等の奇声を発していた。当日の天候は曇りで時刻は15:00頃、午前中の採集でA型、O型に差をつけられ、B型の誇りを傷つけられた怒りと、追り来る夕闇に対する焦りが同氏をこの様な行動にかりたてたと思われるが、筆者が密かに期待していた木からの落下行動は最後まで観察できず残念であった。

八丁川沿いの3ヶ所のヤナギ林(各々10~30株)を捜したが、幼虫はどこでも得られ、また木の好みもあまり無い様で、2本に1本位は幼虫が付いている印象を受けた。幼虫は捜した範囲では地面から2~3mの高さまでの間のどこでも見られ、多くは樹皮のしわに入り込んでいたが、中には滑らかな樹皮にポツンととまっているのもいた。直径6~7cmの比較的細い木が、しわが少ない為一番発見しやすく、20cmを越えるような木は樹皮一面しわだらけで、丹念に見れば沢山ついているようであったが能率は悪かった。1株の木から得られた最高記録は、小さな木からの13頭であったが、見落としは多いと思われ実際にはその数倍はついていると考えられる。

最終的に得られた数は、今年の飼育失敗談を聞き、10頭でやめると決めたA型氏は午前だけで目標達成して10頭、体調思わしくなかったというB型その1氏は10頭、木登りまでして頑張ったB型その2氏が25頭、行く前までは10頭でやめるとウツふいていたO型氏が46頭の計91頭。飼育結果については来春をお楽しみに!

ヒサマツミドリシジミ探索記

井村正行・入場登・野中勝・松本和馬

富山県からも産地が報告され、石川県にも生息する可能性の高いヒサマツミドリシジミを発見すべく、1978年11月12日、大聖寺川上流の山中町片谷、同町九谷町の奥千束川沿いを調査した。ヒサマツの卵を発見することはできなかったが、この付近には(特に片谷の奥)ウラジロガシが豊富であり、本種の生息は非常に有望であると思われる。

片谷概念図



。片谷：片谷町の集落にもウラジロガシが見られ、調査意欲をそそられる。谷にはいってしばらくは谷幅が広く、水田もつくられている。兩岸の斜面は植林が多く、ウラジロガシとおぼしき常緑樹も点々と目につくが、生えている所も高く、とりつきにくそうなので敬遠して先へ進む。谷がせまくなるあたりから兩岸にウラジロガシが目立ちはじめ、図のA・B・C・Dの地点には多く見られた。C地点は有望と見られたので、兩岸に二手に分かれて調べたが、ヒサマツは発見できずに終わった。副産物としてウラジロガシより、アカシジミ1卵(入場)、2卵(野中)、アイミドリシジミ1卵(野中)を採集した。A地点にも良さそうなウラジロガシがあったがミズイロオナガシジミ1卵(松本)を得たにとどまった。

B地点より奥にはヒメカンアオイが見られ、ギョウショウが分布しているかもしれない。クルミ(オニグルミ?)・イボタが見られたのでオナガシジミ・ウラゴマダラシジミも期待できよう。

。千束川千束ヶ滝付近：ウラジロガシは少ないが、急な崖沿いにあるので調査しにくい。少数のウラジロガシを調べたのみで未発見に終わった。なお、崖上の岩場にはヒメカンアオイが見られた。オニグルミが千束川沿いに少しあり、時間の都合で詳しく調べられなかったが、オナガシジミは有望だろう。

金沢のキマダラヒカゲ

松井正人

標本箱の中に、まだサトともヤマとも区別のついていない時分に採ったキマダラヒカゲが数頭あったので、サトとヤマに区別してみた。ここにその採集地を記す。採集者はすべて筆者である。

サトキマダラヒカゲ

1969年5月5日 金沢市大桑町 1♂

ヤマキマダラヒカゲ

1970年5月3日 金沢市天池 2♂♂

1971年8月14日 同 大桑町 1♂

1972年5月3日 同 国見 2♂♂1♀

◦ Neope の記録集積を !!

石川県のキマダラヒカゲ属の分布の実態、食草、化教などは、ほとんど把握されていない。ぜひ記録を集積しよう !!

キリシマミドリシジミの採卵について

井村正行

キリシマミドリシジミは、ひこばえ又は小木に多く産卵するといわれていますが、1979年1月2日、英彦山(福岡県)においてアカガシの12~3mの高所より10卵採卵しました。ただし、他の小木や下枝からも16卵採卵しています。場所の条件によってかなり高所にも産卵するのではないのでしょうか? 同行した入場登氏も同様に感じたそうです。

なお、ウラジロガシの小木(樹高1m位)の上部頂芽より、キリシマミドリシジミ1卵を採集しました。

アカガシは少なく、採卵は困難で寄生率も50%を越えていません。

※ 九州のウラケンシジミ・フジミドリシジミの卵と、ムラサキツバメ・ムラサキシジミなどは、採集できませんでした。

1974年度沖縄採集旅行採集蝶一覧(その2)

松井正人

シロチョウ科

シロチョウ科はツマベニチョウ・タイワンキチョウ・タイワンシロチョウを狙っていたが、ツマベニの新鮮な個体はほとんど採れず、タイワンシロに至っては一日に1♂しか出会わず、結局二日間で1♂しか採れなかった。また、ナミエシロは全くの偶然で1♀採ったのだった。その他は成り行き上採集したものである。

(本): 沖縄本島, (石): 石垣島, (西): 西表島, (与): 与那国島を示す。

種名	個体数	採集地	採集日
キチョウ	4 exs	天久合(本)	8.4
	7 exs	源河川(本)	8.5
	8 exs	又一ハー(本)	8.6
	3 exs	比川(本)	8.13
	1 ex	白浜(本)	8.20
タイワンキチョウ	1♀・3exs	バンナ(石)	8.8
	1♀・1ex	バンナ(石)	8.9
	1♂・1ex	カンピラ(西)	8.16
	1♀	干立(西)	8.17
	1ex	干立(西)	8.18
	1♂・1♀・4exs	白浜(西)	8.19
	5♂♂・1♀・3exs	白浜(西)	8.20
ツマベニチョウ	1♀	又一ハー(本)	8.6
	3♂♂	バンナ(石)	8.8
	1♀	バンナ(石)	8.9
	6♂♂・2♀♀・4exs	宇良部(与)	8.12
	1ex	川平(石)	8.14
	3♂♂	知念(本)	8.26
ウラナミシロチョウ	1♂	干立(西)	8.18

ウスキシロチョウ	2♂・1♀ 1♂・1♀	千立(西) 8.18 与那原(本) 8.26
ナミエシロチョウ	1♀	犬座鼻(与) 8.12
タイワンシロチョウ	1♂	犬座鼻(与) 8.13

以上7種

ウラキンシジミとウラゴマダラシジミ の採卵記録

松本和馬

1978年12月10日、採卵記録が本県に少ない(分布記録そのものも)ウラキンシジミとウラゴマダラシジミの採卵を目的として、野中勝氏とともに雨の中を走り回った。結果をここに報告する。最近採集の際には皆さんの車に乗せていただくことが多く、今回も野中さんには大変お世話になりました。この場を借りて、感謝の意を表します。

- 1) 金沢市横谷町西南方・標高約500mの尾根上
トネリコの一種の樹皮よりウラキンシジミ10卵を採集(松本3, 野中7)。その他、マルバマンサクよりウラクロシジミ2卵(松本1, 野中1)、ミズナラよりアカシジミ属 sp. 1卵(松本)、ミズイロオナガシジミ2卵(松本)、アイノミドリシジミ・ダイセンシジミ・Favonius sp. を若干数(野中)得た。
- 2) 金沢市夕日寺町付近
地図を見て、ウラゴマダラが居そうな感じなので、新産地追加の意味で狙ってみた。たまたま1株だけ見つけたイボタより、1卵増16卵を発見、採集した。その他寄生された10卵も同時に見出した。
- 3) 医王山(スポーツセンター付近)
入場登りよりイボタが多いと聞いていた所だが、ウラゴマは被寄生1卵塊8卵を見たのみ。松本はミズイロオナガ1卵をミズナラより、野中氏はミドリシジミ若干を採卵した。

会員名簿

ができました。

氏名(50音順)	住所・帰省先・TEL	?
井村正行	金沢市大友町ハ93-1 (37)5785	<input type="checkbox"/>
碓井徹	埼玉県上尾市向山261-9 0487(81)0828	<input type="checkbox"/>
嵯峨井淳郎	金沢市額谷3-18-2 (98)3411	<input type="checkbox"/>
笹川育也	富山県井波町本町3-44 加茂方 07638(2)0675	<input type="checkbox"/>
高羽正治	金沢市若松町2丁目163 (62)7854	<input type="checkbox"/>
竹谷宏二	金沢市米泉4-26 (47)2749	<input type="checkbox"/>
谷本		
入場登	金沢市諸江町629 (65)6425	<input type="checkbox"/>
野中勝	金沢市井波町2-7-20 (61)7970	<input type="checkbox"/>
橋場清	金沢市東山1-2-4 (52)3004	<input type="checkbox"/>
松井正人	金沢市三口新町4-9-34 (62)8688	<input type="checkbox"/>
松岡健	金沢市清川町4-4 (44)3906	<input type="checkbox"/>
松本和馬	金沢市土清水町キ8-37 高沢アパート TELなし (帰) 埼玉県与野市上峰304 0488(54)1427	<input type="checkbox"/>
安田典生	金沢市東山3丁目4-31 金道ビル内 TELなし (帰) 札幌市白石区厚別西2条5丁目36 011(892)5230	<input type="checkbox"/>
吉村久貴	金沢市暁町11-40 (61)2578	<input type="checkbox"/>

※谷本さんのお名前と住所、お知らせ下さい。

オナガシジミの採卵記録

松本和馬

筆者は1976年4月15日、碓井徹氏とともに金沢市湯涌の白見谷
入行き、オニグルミより孵化後のオナガシジミの卵殻4個を見つ
けた。また、1977年7月8日には、オニグルミの樹上に舞うオナ
ガシジミらしきチョウを目撃している。

そこで確認を兼ねて1978年11月19日、野中勝氏とともに同地を
訪れ、オニグルミより筆者が1卵塊3卵、野中氏が4卵を採集し
た。

ヒロオビミドリシジミの採卵

井村正行

1979年1月3日、岡山県鶴ノ池において入場登氏とともにヒロ
オビミドリシジミ約80卵を採卵した。個体数はかなり多いもの
と思われる。採卵には大木で枝のよく張った本がよく、張り出した
枝の又に1~7卵位産んである。小木(1~3m位の本)では稀
にしか産まないようだ(3卵位単発で発見)。

その他ミズイロオナガシジミが数卵、ウスイロオナガシジミ1
卵、ウラジロミドリシジミ(?)数卵(ヒロオビの卵に混じってウ
ラジロと思われる卵が数卵あったので)も採集した。

ハシバゼミの記録

12月24日 橋場さんのお宅がお忙しいため、変則的に入場さん
のお宅で開催。

- ・参加者：井村・竹谷・入場・野中・松岡・松本・吉村の名氏。
- ・テーマ：県産ゼフィルスの記録とりまとめについて。吉村氏が
記録をまとめたことなのでデータを送り下さい。

1月26日 於、橋場氏宅。

- ・参加者：井村・入場・野中・橋場・松井・松岡・松本・吉村の
名氏。
- ・テーマ：新入会員の承認について。今後の会の活動の方向づけ
と会誌の内容について。

編集後記

※ 3号を作りかけのまま、西表島へ出かけてしまい、発行が大幅に遅れてしまったことをお詫びします。

※ 前々から約束の会員名簿がやっとできました。谷本さんの所だけ空欄ですが、どうしてもわかりませんでした。大変申しわけありませんが、お許し下さい、御連絡頂けると幸いです。

※ 今日(3/27)、1頭のルリシジミを見かけました。飼育したギフチョウも次々に羽化しています。春ですなあ。西表はもう本土の夏の暑さだったので、金沢へ戻って来て少し季節感覚がおかしくなっているけれど、初蝶を見る感じはやはりいいもんです。

※ これからちょっと忙しくなるので、どなたか編集をバトンタッチしてもらおうと思っています。

(網振童子)

目次

橋場氏の木登り行動——クロコムラサキ採幼記	野中勝	1
ヒサマツミドリシジミ探索記	井村正行・入場登 野中勝・松本和馬	2
金沢のキマダラヒカゲ	松井正人	3
キリシマミドリシジミの採卵について	井村正行	3
1974年度沖縄採集旅行採集蝶一覧(その2)	松井正人	4
ウラキンシジミとウラゴマダラシジミの採卵記録	松本和馬	5
会員名簿ができました		6
オナガシジミの採卵記録	松本和馬	7
ヒロオビミドリシジミの採卵	井村正行	7
ハシバゼミの記録		7
編集後記		8

翔 No.3

1979年2月日

発行：金沢市三口新町4-9-34 松井正人方

百万石蝶談会

校正・編集：松本和馬